

義肢装具自立支援学科主催海外研修 —オーストラリア研修報告—

叶野愛羅¹⁾、阿部薫¹⁾、岡部有純¹⁾、岡部咲樹¹⁾、
渡辺啓太¹⁾

1) 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 義肢装具
自立支援学科

【背景・目的】我々は2019年9月19～21日、オーストラリアのシドニー市にて開催された第19回オーストラリア整形靴学会 19th Annual Meeting & Pedorthic Symposium of The Pedorthic Association of Australia(PSA#19)に参加した。今回は Pedorthic Clinic の見学や訪問等を含め、新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科主催の海外研修(引率：阿部薫教授)として、1年生4名が参加し見聞したことを報告する。

【方法】

1. Pedorthic Clinic 見学

シドニー市郊外の Pedorthic Clinic である Foot Power 社を訪問した。同社の代表は OSM である Karl-Heinz Schott(カール・ハインツ・ショット)氏であり、IVO(国際整形靴学会)会長や PSA(オーストラリア整形靴学会)会長を歴任された整形靴業界の重鎮である。

Foot Power 社はオーストラリア随一の設備と規模を誇り、歩行分析機器や整形靴製作に関するあらゆる設備が整っている。我々の見学は、学生を患者に見立て、問診、触診、採寸、採型のデモ、次に歩行分析機器で被験者学生の歩行分析を行った。次に工作室の見学では、機械室の設備や環境など、全てにおいて大変充実しており、印象的であった。また、これまでに製作した特殊な靴型等を拝見し、その製作技術に感銘を受けたとともに、我々にとって大変魅力的であり有意義な見学になった。

訪問、見学を通し、先進的な技術を肌で感じ、学ぶことができた。この経験は、今後実習授業を受ける上で最大限活用できるとともに、自身の製作技術向上にむけて大変貴重なものとなった。



図1 Foot Power 社にて記念撮影

2. オーストラリア整形靴学会出席

シドニー市郊外の Coogee Bay Hotel にて行われた第19回オーストラリア整形靴学会 19th Annual Meeting & Pedorthic Symposium of The Pedorthic Association of Australia(PSA#19)に参加した。

今回初めての国際学会出席ということもあり、英語に対する不安があったものの、自ら積極的に理解しようと努力することができた。また講演や発表は、臨床現場に立脚した内容を中心としたものが多く、今後の臨床実習に繋げられるものを感じた。学会発表や講演を通じて、海外における臨床の実態を深く学ぶことができ、義肢装具業界へ対する興味を更に高めることができた。



図2 学会発表会場の様子

商業展示では、オーストラリア国内外から12社の出展があった。各社にはプレゼンテーション時間が設けられており、発表はどれも興味深いものばかりであった。また、不慣れでありながらも積極的に質問をしたりするなど、英語によるコミュニケーションをとることができた。

【まとめ】今回の学会参加では、初めての経験が多く苦戦しながらも、積極的な英語コミュニケーションに努め、講演や発表、商業展示を見聞したことで大変有意義なものになった。また、企業訪問においても、実際の臨床現場を肌で感じ、体験することができ、我々学生にとって貴重な経験となった。今回の海外研修で経験したことを、今後の学習や臨床実習に最大限活用し、また研究にも挑戦して学会で発表することを目標としたい。

謝辞

今回の研修は国際交流センター運営委員会の2019年度英語等短期研修助成金の交付を得て行われた。ここに深甚なる謝意を表します。

【文献】

阿部薫：オーストラリア海外研修報告— Pedorthic Clinic 見学とオーストラリア整形靴学会に参加して —, 日本整形靴技術協会雑誌 4, 49-52, 2019.